

成和東小だより

2025(令和7)年11月26日

がっこうちょう 学校長 さわむら ひろこ 澤村 裕子

【URL】<http://www.iga.ed.jp/seiwahigashi-e/>

であ がくしゅう がっき かた まな 出会い学習 2学期もたくさんの方から学んでいます！

ねんせい がつ にち か の う し ま だ 5年生 (9月18日) 加納さん 嶋田さん

だれ じぶん がくしゅう しあわせ く しあわせ めざ
誰もが自分らしく幸せに暮らせる社会を目指して LGBTQ+の
けいはつかつどう こうくう す し ま だ ま さ ひ ろ か の う か つ の り
啓発活動をしている校区にお住まいの嶋田全宏さんと加納克典さん
から話を聞かせてもらいました。「LGBTQ+の人たちが、自分のこ
とをカミングアウトすることができない人が多い。なぜできないと
思う？」と子どもたちに問いかけて



くれました。また、「伊賀市は、パートナーシップ制度があり、自分
たちが移住することに大歓迎してくれた。今の生活が想像以上に
幸せ!」と、伝えてくれました。誰もが(自分も)自分らしく幸
せに暮らせるために、自分ができることは何か、自分がしていくこ
とは何か考えています!

ねんせい がつ と お か ま つ む ら 6年生 (10月10日) 松村さん



ねんせい こうえきざいだんほうじんはんさべつ じんけんけんきゅうじょ まつむらもとぎ
6年生は、公益財団法人反差別・人権研究所みえの松村元樹さ
んから、お話を聞かせていただきました。「松村さんから相手の
気持ちを考えたり想像したりするだけでは、不十分だと聞いて、
初めはどういうことだろうと思っていただけ、相手の気持ちを
考えて、そこでどう行動するかが大事なんだと初めて知った。前
までは行動できていなかったからこれか

らはしっかり行動しようと思った。」「差別をする人を育てる方法は何も教え
ないことで、差別を残し、ひどくする方法は何もしないことなんだなと思っ
た。」「みんなが安心するためには、相手のことをよく知ることができればい
いのかなと思いました。」「ほとんどの差別は悪意がないと聞いて、私も悪意
はないけれど、友だちを無意識に傷つけているかもしれないと思った。」な
ど、松村さんの話から自分のことを振り返り考えていきました。



ねんせい がつ か み え けん けん せ つ き ょ う き ょ う かい い が し ぶ 5・6年生 (10月14日) 三重県建設業協会伊賀支部のみなさん

かんきょうせいびさぎょう せわ み え けん けん せ つ き ょ う き ょ う かい い が し ぶ けんせつぎょう
環境整備作業でお世話になった三重県建設業協会伊賀支部のみなさんから、建設業の
仕事について学習しました。防災ノートつき「建設学習帳」で解説してもらったあと、



測量機の実演をしてもらいました。建設業という仕事は、下水道、橋、道路など今の生活になくてはならない大事な仕事ということもよくわかりました。防災ノートつき「建設学習帳」は、全校児童にいただきました。ありがとうございました。



2年生 (10月24日) 古山の地域の方

2年生は、校区探検で、古山地区市民センターへ行き、地域の方から、ふるやま音頭を教えもらったり、一緒に踊ったりしました。初めて踊る子も多くいましたが、どんどん覚えていき、楽しく踊っていました。その後、となりの田守神社も探検させてもらい、いろいろと興味津々で見学させてもらいました。



3年生 (11月21日) 川口さん

11月21日(金)、伊賀市人権政策課の川口素生さんから3年生に、「人権とは、誰もが自由で自分らしく幸せに生きる権利だよ。」とお話してもらいました。ただ、好き勝手にいいということではなく、自分も相手も大事にすること、ルールを守ることも大事だと教えてもらいました。川口さんの今までの経験もたくさん話してくれて、



「みんなも自分のことを振り返ってほしい、相手の気持ちを想像してほしい、相手の話をしっかり聴いて相手を大事にしてほしい」というメッセージももらいました。3年生のみなさん、自分に矢印を向けて自分を振り返って考えていこう！

